# 平田真実後援会 広報 vol.3

小野市議会の平田真実と申します。この広報をご覧頂きありがとうございます。皆様に伝わる議員活動・議会活動を目指し、この広報を配布させて頂いております。

◇ 6 月本会議一般質問◇(小野市議会だより・小野市議会HPにて詳細確認頂けます) 小野市議会だよりでは、当局の答弁を主に掲載致しましたので、質問の経緯を記載します。

#### ①ソーシャルメディアの活用について

小野市では4月よりフェイスブックページを開設しています。ホームページや広報おのなど様々な手段で情報発信に努めて頂いていますが、現在更新されている内容だけでなく、小野市HPで更新している内容をそのままフェイスブック上でも投稿できないかという視点で、フェイスブックページを始めとしたSNSを有効活用し、より市民に情報が伝わるように取り組んで頂けるよう、またHPに関しても、フェイスブックからアクセスしてきた方が小野市HPを直感的に利用できるようなレイアウトを考えて頂きたく質問致しました。

#### ②子育て家庭における母親の就労について

小野市の子育て世代のアンケート結果で、就学前の児童を持つ現在就労していない母親の69.5%が「就労したい」と回答され、小学生を持つ母親も57.4%の方に就労意向があることがわかっています。その意向に応える為の市の今後の方向性をお伺いしたく質問致しました。

### ◇視察報告◇ (小野市議会HPで視察レポートをご覧頂けます)

①総務文教常任委員会

7月1日 岩手県二戸市 にのヘブランドの海外発信事業について

7月2日 岩手県盛岡市 もりおか復興推進しえあハート村について

7月3日 秋田県鹿角市 子どもが輝く学校教育の推進について

②会派視察

7月27日 沖縄県糸満市 子育て支援センターについて

7月28日 沖縄県名護市 6次産業化について

日々の活動を、インターネット上で報告しています。

HP http://www.hiratamami.com

Facebook <a href="http://facebook.com/mami.kamon">http://facebook.com/mami.kamon</a>

Instagram <a href="http://instagram.com/hiratamaaami">http://instagram.com/hiratamaaami</a> @hiratamaaami

Twitter <a href="http://twitter.com/kamonmami0128">http://twitter.com/kamonmami0128</a> @kamonmami0128

## 皆様と同じ目線を意識します!

\*まったりゆったり一緒に、小野市、そして未来について、語り合いませんか?\* ランチやお茶をしながら、意見交換する場をつくっていきたいと考えています。

- ・平日10:00~15:00の間で1時間もしくは2時間
- ・場所は小野市の議会事務局の談話室や小野市内の喫茶店など
- ・ご自宅近くの場所をご指定ください
- ・ご家族、ご友人などもよければご一緒に!
- ・ご自宅の中はご遠慮致します
- ・立ち話でもよろしければ、玄関の外でお話しましょう
- ・飲食の際は、別会計でお願い致します

### \*市役所5階にお越しになられたことはありますか?\*

議会事務局や議場、議員控室がある市役所の5階にぜひ一度お越しください。 ご連絡いただければ、ご案内致します。

HPにて、調整可能時間帯としてカレンダーを公開しています。 そちらもぜひご確認ください。

メールアドレス

supporters@hiratamami.com(受信専用)

hirata\_mami@ono-sigikai.jp

雷話番号

0794-63-8811 (必ず通知設定でおかけください)

7月、一般社団法人ユースデモクラシー推進機構主催の「20代当選議員の会」に参加させて頂きました。 学生時代からインターネットやパソコンのある生活環境の中で育った、1985年以降生まれのデジタルネイティブ議員が全国から集結しました。20代議員は全議員のわずか1%。この「20代当選議員の会」は、インターネットを駆使した新しい政治家スタイルをつくり、政治に対するイメージを一新し、"半世紀先も当事者として存在している"私たちが、有権者に信頼してもらえる"若者の政治"を実現するため、そして、政党や会派を越え、互いを認め合いながらも「未来をみつめること」の1点についてのみ、全国民の目線を揃えることを目的として開催されました。

私たち若い世代が、「地域コーディネーター」として、地元企業や各種団体・有志個人・専門家を巻き込み、既存技術やアイディア、知的財産等を活用して、「地域に目に見える何らかの前向きな変化を起こす」ことを「成果」と考え、地域を発展させていくことこそが「若手地方議員の役割」である、というユースデモクラシー推進機構の考えに、私自身とても賛同でき、議会での画期的な一般質問や陳情を実現することに留まらず、様々な視点から地域の活性化を考えて参ります。